

千住の遊び方

便利な駅ビルはもちろん魅力だけど、駅ビルの外側に、面白い千住がある。江戸から始まる宿場の独特的な歴史の上に、繁栄した、明治大正昭和の姿も見え隠れする、現代の千住。東京のほかのまちとは一味違う千住に、一歩踏み込んで、遊んでみませんか。



男湯と女湯をまたぐ富士山が迫力の金の湯



①

古い趣きのある銭湯と最新設備の銭湯の両方が揃い、その日の気分で楽しめるのが魅力だそう。銭湯の、寺のような外観は、実は東京周辺に集中している。というのも、関東大震災で多くを焼失した東京で、ある宮大工が銭湯建設の依頼を受けたのがきっかけ。自分の技術を生かしこれまでにない銭湯を建てて東京を元気づけよう挑んだという。仕上がった宮造りの銭湯は人々を驚かせ、評判を呼んだ。おりしも復興期、次々と銭湯が建てられた時期でもあり、皆がその様式を真似たという。

千住の銭湯でもこの重厚な宮造り様式が楽しめる。一方で、プールのある銭湯や新しいモダン銭湯もある。

そんな、我らがまちの財産を、楽しまないのもつたない！

2つのSを楽しむ

銭湯
Sento
と酒場
Sakaba

TVや雑誌にもたびたび登場するように、千住は東京でも有数の「銭湯」と「酒場」充実タウン。ここではそれを、ダブルで楽しんじゃおうと提案したい。さらにティーブに楽しめたい方には、宿もセットで。

大きな湯船で日ごろの疲れをすっきり落とし、よりどりみどりの酒場を放浪、帰宅を気泰へん。ここではそれを、ダブルで楽しんじゃおうと提案したい。さらにティーブに楽しめたい方には、宿もセットで。

千住の銭湯11軒

「週1回でも銭湯の大きな湯船に入ると、とにかくすっきりします。スーパー銭湯もいいけれど、足立区は身近にたくさんあるんだから、話すのは、千住在住で近頃話題の若手芸人、風呂わく三さん。わく三さんによると千住は、といっしょに、また、女子会に。思い切って一夜、千住でじっくり遊んでみませんか？

千住の酒場

北千住駅東口から徒歩2分の梅の湯
古い建物を活用した新しい店も増えている

北千住駅西口を出て左。細長く伸びる通称「飲み横」や、昭和30年代の香りを残す「毎日通り飲食店街」…。いくつかの印象的な老舗の飲み屋街はもちろんだが、このところ、若い世代がつくる飲食店が増えた。若い世代ならではのものなしや料理へのこだわり、空間づくり。また、「千住酒合戦 ぶらり酒散歩」「街のみ北千住」など、魅力的なイベント企画も増えている。千住の酒場が今、オモシロイ！

魅惑の宿3軒

江戸時代、宿場町だった千住だが、現在の千住にも3軒の宿がある。戦後まもなく建てられた2軒の旅館の風情もよし、便利で新しいホテルも魅力。あなたはどうちに泊まる？



舞鶴旅館
千住 3-18 ☎03-3881-4835
1人1部屋利用一泊4,515円～／外国人に
人に清潔でお値段も手ごろ

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

9

8

7

6

5

4

3

2

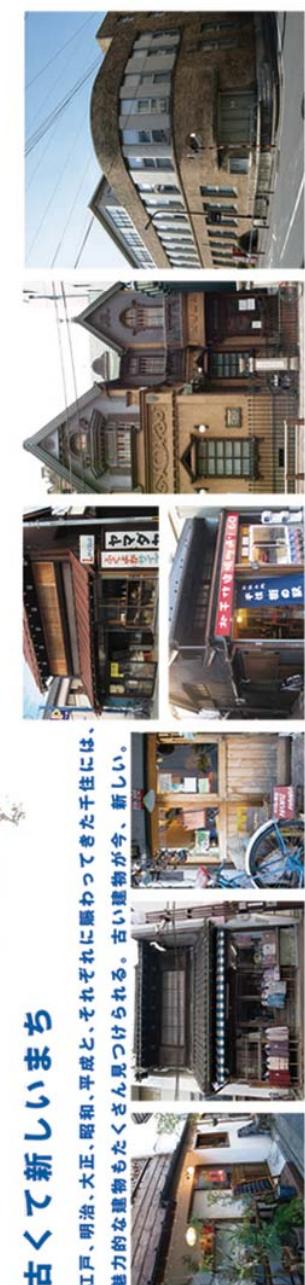
1

0

9



千住の魚河岸



古くて新しいまち

江戸時代には野菜の市場（やっちゃんば）として江戸の流通になった千住
大船ふものあたり。今では、船内唯一の水産物専門の中央卸売市場、
足立市場として、魚屋さんや飲食店の主人たちを迎える。プロ向けの市場だが、市場内の
食事棟、足布や腰筋等の食材やプロの道具等
を扱う関連事業者は、一般の人も利用でき
る。珍しいものが市場価格で入手できるかも。



川と路地のまち

花火で有名な荒川が、人工の川だとご存知でしたか？ 荒田川（当時は荒川と呼んだ）の度重なる洪水を遮るために、大正期から昭和初期にかけて、
人の手で掘られたのが現在の荒川。その庇とした荒川と、今も風景の美しい荒田川、2つの川にははさまれたままが千住。江戸期からの町筋を経承
して路地が多く、散歩が楽しい。ただし、路地は生活と繋り合せなので、静かに歩きたい。